

教育文化部

令和7年度事業を振り返って

教育文化部長 市野川 浩

教育文化部は以下の3つの部会から構成されており、各部会の今年度活動の概要は以下の通りです。

- ①【公民館部会】6月実施のスポーツフェスティバルでは、昨年度の4種目にスポーツ吹き矢を加え全5種目とし、3会場に174名の選手参加を得て大変楽しんで頂けたと思います。また、新年1月には37名の参加を頂いた新年祝賀会において、日常また旧来の親睦を温めて頂きました。その他、長野市甚句音頭交流会、若槻公民館主催・コミわか主催の行事開催等に協力参加致しました。
- ②【人権教育部会】人権基礎研修(6月)、若槻地区住民集会(7月)、男女共同参画セミナー(11月)においてそれぞれ講師の先生をお招きして、人権・防犯対策・学校での人権教育・男女共同参画、等についての研修を行いました。また、コミわか主催の行事開催等についての協力参加も致しました。
- ③【青少年部会】5月に年度当初事業となった若槻子ども相撲大会では約50名の子ども選手の出場により昨年同様大盛り上がりとなりました。1月の地域レクリエーションでは雪降りではありましたが、父兄を含め約400名ほどの参加を得て皆様に楽しんで頂きました。(写真参照) その他コミわか主催の行事開催にも協力参加致しました。



地域レクリエーション開会式
(北部中・飯綱講堂)

市立若槻公民館

つなげる・つながる わかつきの“わ”

公民館長 小松 保裕

4月に館長としてお世話になって早1年がたとうとしています。あらためて、若槻のすばらしさ、若槻に集う皆さんの力強さと温かさを実感しています。

成人学校では、まさに「継続は力なり」あいあい文化祭での展示やステージから、その学びの深さが伝わってきます。どの発表も目を見張り心沸き立つすばらしいもので、ぜひ多くの方に観てもらいたいと願うばかりです。

公民館が主催する講座は歴史、創作、調理、スポーツ、コンサート等多岐にわたりますが「参加してよかった」という感想を多数いただきます。講師の先生のお力もありますが、一番は参加される受講生の皆様のすばらしさです。熱心に話を聞き、反応し、積極的にやってみる前向きな姿勢に、講師の先生方は口をそろえて「若槻の皆さんは意識が高い」とおっしゃっています。受講される皆様が講座をつくり上げてくださっている。さらにはサークル活動等も言めて使用される方のマナーの良さ、老朽化激しいこの公民館を大切にしてくださいその思いに感謝申し上げます。



今年度は「つながる」をキーワードに、地域の小中学校、高校、大学、特別支援学校、子どもプラン等、若者にも参加いただきました。11月のあいあい文化祭では多くの作品出品、ボランティア参加、さらには有志合唱団の発表等で好評を得ました。これからも公民館が、皆様がつながる場となり「わ」が広がるお手伝いをできればと考えています。皆様、お気軽に公民館にお越しください。

(一社) コミわかグリーン倶楽部

7年度事業を振り返って

(一社) コミわかグリーン倶楽部 藤澤 寛作

発足から15年経ち、20数区画からスタートしたコミわか農園の区画数も約12倍の250区画に至りました。

今年は懸案であった5年前に市から引き継いだ蚊里田農園のうち境界杭が消滅したりして境界が不明確になっている20か所の再測量を行い、図面を更新する事業を行いました。

本件は支所発地域力向上支援金を申請、約10万円の交付をしていただきましたが、他の農園でもこれに類した事例も出てきているため、今後のメンテナンス費用の捻出が課題となります。

また、利用者様の利便を図るため、JAの指導員を招いて野菜栽培の講習会を開いたり、夏野菜の苗の斡旋、たい肥、もみ殻、わらの販売会を定期的に行いました。

農業に親しみ、地域活性化を図る活動として、ひまわり栽培で種油、にんにくの販売なども行い、りんご体験クラブでは自前のりんご畑を借りて栽培技術の習得、近隣農家へのお手伝いなども行っています。

加えて上野の皐月子ども園の園児との交流活動として、サツマイモの植え付け、収穫体験、焼き芋大会、クリスマス会を15年間続けており、すっかり園の行動スケジュールに組み込まれています。